

週間情報

No. **0835**

発行: 全国消防長会 企画部 企画課 東京都港区虎ノ門 2-9-16 TEL03-4500-6622 URL: <https://www.fcj.gr.jp/>

目次

※ 目次の項目をクリックすると、該当ページへ移動します。

両 会 の 動 き

- ◆ 「消防実務講習会（予防・広報）」を開催

[一般財団法人全国消防協会四国地区支部](#)

- ◆ 「令和8年度消防実務研修会（救急）」を開催

[全国消防長会北海道支部道南地区協議会](#)

消 防 本 部 の 動 き

▽行 事

- ◆ 第54回全国消防救助技術大会および関連イベントを開催

[新潟市消防局（新潟）](#)

▽訓 練

- ◆ 消防団と合同で救助用ボート運用訓練を実施

[松山市消防局（愛媛）](#)

- ◆ 解体予定建物を活用した各種訓練を実施

[湖南広域消防局（滋賀）](#)

- ◆ 警察署と合同で水難救助訓練を実施

[さつま町消防本部（鹿児島）](#)

- ◆ 警察署と合同で水難救助訓練を実施

[小山市消防本部（栃木）](#)

- ◆ 医療機関との合同搬送訓練を実施

[宮古島市消防本部（沖縄）](#)

- ◆ 解体予定の建物を活用した訓練を実施

[橋本市消防本部（和歌山）](#)

▽研 修

- ◆ 「耕運機事故対応講習」を実施

[磐田市消防本部（静岡）](#)

- ◆ 「災害時における搜索犬と連携した活動に係る研修会」を実施

[弘前地区消防事務組合消防本部（青森）](#)

- ◆ 「強制進入技術実技講習」を実施

[春日井市消防本部（愛知）](#)

- ◆ 「多数傷病者対応机上訓練」を実施

[館林地区消防組合消防本部（群馬）](#)

- ◆ 「災害現場における安全管理について」の職員研修を実施

[西条市消防本部（愛媛）](#)

- ◆ 災害対応部隊による「物件除去命令」実務研修を実施

[横須賀市消防局（神奈川）](#)

- ◆ 認知症サポーター養成講座に参加

[天草広域連合消防本部（熊本）](#)

[目次に戻る](#)

◆ 違反処理実務研修を実施

多治見市消防本部（岐阜）

▽その他

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

中間市消防本部（福岡）

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

西村山広域行政事務組合消防本部（山形）

◆ ご寄附をいただいた企業に感謝状を贈呈

松本広域消防局（長野）

◆ ケーブルテレビと連携した広報を開始

東京消防庁（東京）

◆ 「オープン市役所」に参加

うるま市消防本部（沖縄）

◆ ご当地アイドルによる「救命チャレンジ」を実施

日立市消防本部（茨城）

国 等 の 動 き

▽消防庁通知等

◆ 「世界保健機関（WHO）による緊急事態宣言を受けたエボラ出血熱に係る対応について」の一部改正について

（消防救第312号、令和8年8月28日）

◆ マイナ救急の積極的な広報について（依頼）

（事務連絡、令和8年8月28日）

▽報道発表

◆ 令和8年7月の熱中症による救急搬送状況

（令和8年8月25日、消防庁）

◆ 「令和8年4月22日に発生した岩手県大槌町における林野火災に係る消防庁長官の火災原因調査報告書」の公表

（令和8年8月27日、消防庁）

◆ 令和8年度全国少年消防クラブ交流大会を開催します

（令和8年8月31日、消防庁）

◆ 消防団の組織概要等に関する調査（令和8年度）の結果

（令和8年8月31日、消防庁）

「公式 X」を開設!!

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

フォローはこちら



X (旧 Twitter) 登録用二次元コード

[目次に戻る](#)

両会の動き

◆ 「消防実務講習会（予防・広報）」を開催

一般財団法人全国消防協会四国地区支部

一般財団法人全国消防協会四国地区支部では、令和8年8月19日（水）、高知県高知市において、「消防実務講習会（予防・広報）」を開催しました。

当講習会では、開催地消防長（高知市消防局長）のあいさつに続き、第1部では、株式会社フタガミの本山和平氏および楠瀬淳司氏を講師にお招きし、「感震ブレーカーについて」をテーマにご講義いただきました。

第2部では、RKC高知放送の久保田浩史氏から、「現役アナウンサーが40年のキャリアで知った伝え方のコツ」をテーマにご講義いただきました。

今後も、予防・広報技術の向上のため、さまざまな取り組みを行ってまいります。



【講習会の様子】

◆ 「令和8年度消防実務研修会（救急）」を開催

全国消防長会北海道支部道南地区協議会

全国消防長会北海道支部道南地区協議会では、令和8年8月21日（金）、北海道沙流郡日高町富川において、道南地区の9消防本部を対象に、「令和8年度消防実務研修会（救急）」を開催しました。

この研修会は、同協議会の事業の一環として、院外心停止傷病者に対する救命率および社会復帰率の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、美唄市消防本部からお招きした職員を講師として、ハイパフォーマンスCPRに関する座学を受講した後、開催地消防本部である日高西部消防組合消防本部による実技指導を通じて、胸骨圧迫や人工呼吸の質の向上および隊員間の連携強化の重要性について情報共有を図りました。

今後も、研修で得た知識や技術を現場活動に生かし、地域の救命率のさらなる向上に努めてまいります。



【講習会の様子】

消防本部の動き

▽行 事

◆ 第54回全国消防救助技術大会および関連イベントを開催

新潟市消防局（新潟）

新潟市消防局では、令和8年8月22日（土）、「^{たす}ける～ともにまだ見ぬ新時代へ～」をスローガンに、第54回全国消防救助技術大会および関連イベント「消防フェスタ」を開催しました。

全国から集まった約900人の精鋭たちが、日々の訓練で磨いた技術を競い合いました。

「消防フェスタ」では、消防を身近に感じ、楽しんでもらえるよう、屋上ヘリポートの開放や放水・レスキュー体験など、さまざまなブースを設け、防火・防災意識の向上につながる消防広報を実施しました。



【第54回全国消防救助技術大会の様子】



【消防フェスタの様子】

▽訓 練

◆ 消防団と合同で救助用ボート運用訓練を実施

松山市消防局（愛媛）

松山市消防局では、令和8年8月8日（土）、小学校のプールにおいて、松山市消防団第1方面隊と合同で救助用ボート運用訓練を実施しました。

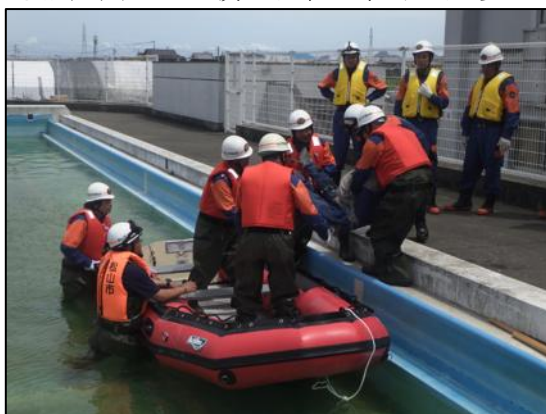
これは、風水害発生時における連携を強化するとともに、災害対応能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、総務省消防庁から無償貸与を受けた救助用ボートを活用し、救出・搬送訓練などを行いました。

訓練では、救命胴衣や胴付長靴を着用し、水深約80センチにおいて、水圧による活動障害や安全管理の難しさを体験しました。

第1方面隊の管轄地域では、令和6年11月の集中豪雨により内水氾濫が発生し、多くの被害が出たことから、参加者の訓練に対する意識も非常に高く、実践的な訓練は今後の災害対応につながる大きな備えとなりました。

今後も消防団との連携を強化し、市民の安全・安心を守るため訓練を重ねてまいります。



【訓練の様子】

[目次に戻る](#)

◆ 解体予定建物を活用した各種訓練を実施

湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、令和8年7月23日から8月14日までの間、草津市内の解体予定建物を活用し、各種訓練を実施しました。

この訓練は、実際の建物を使用し、普段の訓練では再現が難しいドア破壊訓練やはしご車からの梯上放水訓練、槽内救助訓練などを行うことで、建物の構造特性を把握するとともに、実践的な技術の向上を図ることを目的として実施したものです。

今回の訓練で得た経験と知識を今後の災害現場における迅速かつ的確な活動につなげ、市民の皆さまの安全・安心を守るため、さらなる現場活動能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 警察署と合同で水難救助訓練を実施

さつま町消防本部（鹿児島）

さつま町消防本部では、令和8年8月17日（月）、さつま警察署と合同で水難救助訓練を実施しました。

この訓練は、迅速かつ的確な判断が求められる水難救助の初動対応に関する知識・技術の向上と相互の連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、当消防本部の水難救助隊員が、水難事故発生時の初動対応について座学を行った後、管内の川内川において、現場到着時の状況確認や救命浮環、スローバッグ、ゴムボートによる要救助者の救出などを行いました。

本訓練を通じて、水難救助の考え方や活動要領について共通認識を深めるとともに、顔の見える関係を構築しました。

今後も、関係機関とのさまざまな訓練を継続し、災害発生時の対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 警察署と合同で水難救助訓練を実施

小山市消防本部（栃木）

小山市消防本部では、令和8年8月20日（木）、小山警察署と合同で水難救助訓練を実施しました。

この訓練は、水難事故に備え、消防・警察の連携を強化し、的確な救助活動を実施することを目的として実施したものです。

当日は、水難事故を想定した訓練と、双方が所有する水難救助資機材の確認を行い、それぞれの活動内容や保有資機材について相互理解を深めました。

訓練終了後、中田消防長は、訓示で「今後も継続的に訓練を重ねて、互いの連携をさらに深めていきたい」と述べました。

今後も、警察との連携を強化し、地域住民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 医療機関との合同搬送訓練を実施

宮古島市消防本部（沖縄）

宮古島市消防本部では、令和8年8月21日（金）、沖縄県立宮古病院との合同搬送訓練を実施しました。

この訓練は、宮古島の基幹病院である沖縄県立宮古病院において人工心肺装置「ECMO」が導入されることに伴い、転院搬送（自衛隊機などによる急患空輸）を円滑に行うための体制を整えることを目的として実施したものです。

当日は、実際に「ECMO」などの実機を接続した人形を使用し、ICU病棟から救急車内への搬入など、一連の流れをシミュレーションするとともに、課題や改善点を共有しました。

今後も関係機関との連携訓練を継続し、地域医療の安全・安心の確保に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 解体予定の建物を活用した訓練を実施

橋本市消防本部（和歌山）

橋本市消防本部では、7月から8月にかけて、市の関係部局の協力のもと、市が保有する解体予定の建物を活用した訓練を実施しました。

この訓練は、現場活動に必要な技術の向上を図ることを目的として実施したものです。

訓練では、建物内でのホース延長やドアや壁の破壊などを行い、実際の現場に即した活動を行うことができ、大変有意義な訓練となりました。

この訓練で得た経験を現場活動に役立てるとともに、今後も市の関係部局と連携し、さまざまな訓練を計画してまいります。



【訓練の様子】

▽ 研 修

◆ 「耕運機事故対応講習」を実施

磐田市消防本部（静岡）

磐田市消防本部では、令和8年8月17日（月）、18日（火）の2日間、磐田市消防署において、地元企業である株式会社ジェイエイ遠中サービスの職員を講師としてお招きし、「耕運機事故対応講習」を実施しました。

これは、特殊な事故への対応能力の向上と市内企業との連携を図ることを目的として実施したものです。

講習では、実際に発生した耕運機による事故事例の紹介をはじめ、VRゴーグルを使用した事故の疑似体験、実機を用いた操作、回転刃の取り外し方法などについて学びました。

農作業中の事故では、機械の構造や特性を理解した上での適切な対応が求められます。

今回の講習で得た知識や技術を今後の現場活動に生かし、救助対応力のさらなる向上につなげてまいります。



【講習の様子】

◆ 「災害時における捜索犬と連携した活動に係る研修会」を実施

弘前地区消防事務組合消防本部（青森）

弘前地区消防事務組合消防本部では、令和8年8月19日（水）、「災害時における捜索犬と連携した活動に係る研修会」を実施しました。

この研修は、職員の捜索犬に関する理解を深めることを目的に、講義とデモンストレーションの2部構成で実施したものです。

当日は、NPO法人北東北捜索犬チーム理事長の岩本良二氏を講師としてお招きし、捜索犬の特徴や活動を行う上での留意点などについてご講義いただきました。

また、捜索犬と連携する際に必要な知識を習得するとともに、捜索犬に関する疑問点などを解消し、学びの多い研修会となりました。

今後も各種災害を想定した実践的な訓練を継続し、捜索犬チームをはじめとした他機関との連携強化に努めてまいります。



【研修会の様子】

◆ 「強制進入技術実技講習」を実施

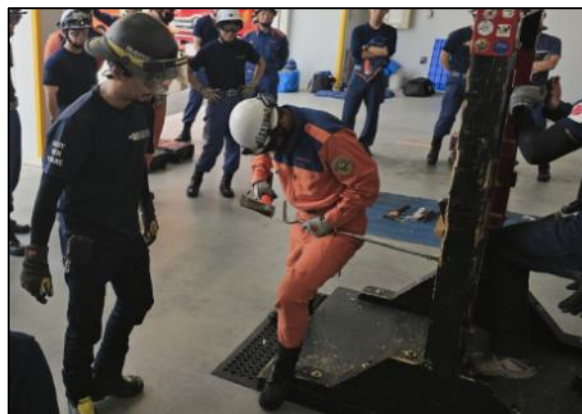
春日井市消防本部（愛知）

春日井市消防本部では、令和8年8月18日（火）、19日（水）の2日間、消防署において、「強制進入技術実技講習」を実施しました。

この講習は、一般社団法人Japan Forcible Entry 韋駄天の一ノ宮健氏を講師としてお招きし、人命救助や消火活動のため、施錠されたドアを迅速かつ確実に開放する知識や技術を習得することを目的として実施したものです。

当日は、中隊長、小隊長を含め78人が参加し、バールや斧をはじめとした専用のハンドツールを使用して、模擬扉の開放訓練を実施しました。「扉の向こう側」に取り残された要救助者を救うための知識や技術を実践的に学びました。

今後は、講習で学んだ知識や技術を共有し、さまざまな訓練を通じて災害対応能力の向上に努め、市民の安全・安心の確保につなげてまいります。



【講習の様子】

◆ 「多数傷病者対応机上訓練」を実施

館林地区消防組合消防本部（群馬）

館林地区消防組合消防本部では、令和8年8月19日（水）、20日（木）の2日間、「多数傷病者対応机上訓練」を実施しました。

この訓練は、「局所災害対応マニュアル」の見直しや多数傷病者対応への理解を深めることを目的として実施したものです。

期間中は、「東北自動車道における交通事故で、多数の傷病者が発生した」との想定で、「傷病者カード」を活用し、各隊が現場に到着した直後から迅速に状況把握と傷病者の選別を進め、指揮命令系統の確認や情報共有の手順を実践的に検証しました。

訓練を通じて、各隊が共通認識を持って連携することの重要性を再確認するとともに、今後の災害対応力向上に向けた課題と改善点を明確にすることができました。

今後も、地域住民の安全・安心を守るための取り組みを組織が一体となって継続してまいります。



【訓練の様子】

◆ 「災害現場における安全管理について」の職員研修を実施

西条市消防本部（愛媛）

西条市消防本部では、令和8年8月21日（金）、「災害現場における安全管理について」の職員研修を実施しました。

この研修は、近年激甚化・複雑化する災害現場において、「殉職者・受傷者を絶対に出さない」ことを目的として実施したものです。

当日は、地方公務員安全衛生推進協会の「公務災害防止対策セミナー市町村研修支援コース事業」を活用し、元横浜市消防局特別高度救助部隊長で、現在は安全管理アドバイザーとして活動されている勝山明彦氏を講師にお招きしました。

講義では、過去のデータや講師自身の豊富な経験を交えながら、災害現場で事故が起きる要因とそれを防ぐために必要な対策について、さまざまな角度からご教示いただきました。

「現場に絶対の安全はない」という強い緊張感を持ち、本研修で培った安全意識を今後の業務に生かしてまいります。



【研修の様子】

◆ 災害対応部隊による「物件除去命令」実務研修を実施

横須賀市消防局（神奈川）

横須賀市消防局では、令和8年8月24日（月）、横須賀市消防庁舎において、「物件除去命令」に関する実務研修を実施しました。

この研修は、消防法第5条の3に基づく「物件除去命令」について、出勤先などで避難上支障となる物件の存置を発見した際、当直職員が迅速かつ適切な措置を講じられるようにすることを目的として実施したものです。

新宿区歌舞伎町ビル火災から年月を経た今、火災発生時に甚大な被害を生じさせる危険性を改めて認識し、消防職員としての責務を再確認しました。

事前に、法令の趣旨、命令の要件、対応手順および関係者への説明方法に関する座学を行い、当日は雑居ビルおよびホテルを想定した実務研修を行いました。

避難通路上に置かれた障害物を対象に、命令の要否の判断、関係者への説明、命令書の交付など、一連の対応を実践的に確認しました。



【研修の様子】

◆ 認知症サポーター養成講座に参加

天草広域連合消防本部（熊本）

天草広域連合消防本部では、令和8年8月25日（火）、26日（水）の2日間、天草市認知症相談センターが主催する認知症サポーター養成講座の巡回講座に参加しました。

「認知症サポーター」とは、認知症について正しく理解し、認知症の方やそのご家族を地域で温かく見守る応援者です。

今回の参加は、認知症への理解を深め、今後の消防活動に生かすことを目的としたものです。

救急活動のほか、地域の方々に接する機会が多い消防職員は、認知症の方やそのご家族と接することも多いため、今回の講座を通して認知症の方の考え方を学び、接遇に関する知識を深めました。

今後も各機関と連携し、地域に密着した消防として、住民の皆さまの安全・安心のため、さまざまな取り組みを計画し、実施してまいります。



【講座の様子】



【配付された「応援の証オレンジリング」】

[目次に戻る](#)

◆ 違反処理実務研修を実施

多治見市消防本部（岐阜）

多治見市消防本部では、令和8年8月27日（木）、岐阜地方法務局多治見支局の職員を講師としてお招きし、違反処理実務研修を実施しました。

この研修は、違反処理において「命令」などの名宛人を適切に特定するため、登記制度や登記事項証明書の見方に関する知識の習得を目的として実施したものです。

当日は、法務局職員から、登記事項証明書の構成や表題部・権利部の見方、法人登記から代表者を確認する方法などについて、実務に即した講義を受けました。

今後も関係機関との連携を深め、より適正かつ確実な違反処理事務につなげてまいります。



【研修の様子】

▽その他

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

中間市消防本部（福岡）

中間市消防本部では、令和8年8月18日（火）、管内の高等学校に通う3年生3人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和8年7月17日（金）、管内の池で溺れていた小学生3人を、現場に居合わせた高校生3人が協力して救出したものです。

3人の冷静かつ迅速な判断と勇気ある行動により、小学生3人の尊い命が救われました。

この勇敢で献身的な行動に対し、心から敬意と感謝の意を表します。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

西村山広域行政事務組合消防本部（山形）

西村山広域行政事務組合消防本部では、令和8年8月21日（金）、消防協力者2人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和8年7月9日（木）、管内で発生した共同住宅の建物火災において、自動火災報知設備の鳴動で火災に気づいた入居者が、建物に設置されていた消火器や水バケツを使用して初期消火を行い、被害の拡大防止に大きく貢献したものです。

高い防災意識と勇気ある行動に、心より敬意と感謝の意を表します。



【感謝状贈呈の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ ご寄附をいただいた企業に感謝状を贈呈

松本広域消防局（長野）

松本広域消防局では、令和8年8月25日（火）、キッセイ薬品工業株式会社からご寄附をいただき、同社において感謝状を贈呈しました。

この寄附は、キッセイ薬品工業株式会社が創立80周年を迎えた節目に、地域社会への貢献の一環として、消防行政の充実に役立ててほしいとの趣旨で寄附されたものです。

当日は、神澤陸雄会長から越口匡浩消防局長へ寄附金の目録が手渡され、越口消防局長から神澤会長へ臥雲義尚広域連合長名の感謝状が贈呈されました。

神澤会長から「消防の発展に役立ててほしい」との言葉をいただき、越口消防局長は「今回の御厚意は、言葉に尽くせないほど心強く、職員にとっても大きな励みになります」と感謝を述べました。

今回の寄附金は、消防・救急活動用備品などの整備に活用し、消防・救急体制のさらなる充実強化を図ってまいります。



【感謝状贈呈の様子】



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ ケーブルテレビと連携した広報を開始

東京消防庁（東京）

東京消防庁世田谷消防署では、令和8年8月10日（月）、ケーブルテレビのイッツコムチャンネルの新番組「イッツコムくらしの安心安全NAV i」と連携した広報を開始しました。

これは、熱中症対策やバッテリー火災の注意喚起、消火器の使用方法を地域の人たちに伝えることを目的として実施したものです。

同番組は、同年6月から始まったもので、イッツコムエリア内の警察署と消防署が「今、地域の人たちに伝えたいこと」を収録・制作し、放送しています。

当消防署の映像は、同年8月10日（月）から16日（日）までの間、1日3回から4回放送されたほか、イッツコム公式YouTubeチャンネルにも8月11日（火）に公開されています。

また、救急受診ガイドの広報動画や、管内の高校生と一緒にダンスを踊って消火器の使い方を覚える動画など、2種類のオリジナル動画も活用しています。

ぜひご覧ください。



【収録の様子】

◆ 「オープン市役所」に参加

うるま市消防本部（沖縄）

うるま市消防本部では、令和8年8月21日（金）、市役所において、各部署の業務内容を紹介・説明する「オープン市役所」に参加しました。

当消防本部のブースには、将来消防職員を目指す若者たちが多数訪れ、現役消防職員による業務内容の説明に熱心に耳を傾ける様子が見られました。

次年度以降も参加し、将来消防職員を目指す方に向けた広報・PR活動を積極的に行い、より多くの方々に消防の仕事に関心を持っていただけるよう努めてまいります。



【オープン市役所の様子】

◆ ご当地アイドルによる「救命チャレンジ」を実施

日立市消防本部（茨城）

日立市消防本部では、令和8年8月27日（木）、同年9月9日の「救急の日」を前に、日立市ご当地アイドル「チームハレルヤ」「ハレルヤネクスト」のメンバー10人をお招きし、普通救命講習「救命チャレンジ」を実施しました。

この取り組みは、アイドル自らが講習を受講し、その真剣な姿や感想を市とアイドルの公式SNSで相互発信することで、公的広報が届きにくい若年層やZ世代に救命の重要性を伝えることを目的として実施したものです。

当日は、胸骨圧迫やAEDの操作などの実技講習を行いました。

受講後には、「普段応援してくれるファンや日立のまちの人に万が一のことがあった時、自分たちの手で助けられる存在になりたい。私たちの挑戦を見て『自分も講習を受けてみよう』と思ってほしい」と、同世代に向けたメッセージが寄せられました。

講習終了後には、消防次長から「ステージネーム入り修了証」が即日交付されました。

今後も、若年層への救命講習の普及啓発を強化してまいります。



【講習の様子】



【講習後の記念撮影】

国等の動き

▽消防庁通知等

◆ 「世界保健機関（WHO）による緊急事態宣言を受けたエボラ出血熱に係る対応について」の一部改正について

（消防救第312号、令和8年8月28日）

消防庁救急企画室長から各都道府県消防防災主管部（局）長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平素より、救急業務の推進につきまして御理解と御協力をいただき御礼申し上げます。

コンゴ民主共和国とウガンダにおけるエボラ出血熱に係る対応については、「世界保健機関（WHO）による緊急事態宣言を受けたエボラ出血熱に係る対応について」（令和8年5月21日付け消防救第162号（令和8年8月18日一部改正）。以下「消防庁通知」という。）により、御対応と御協力をいただいているところです。

今般、「ウガンダにおけるエボラ出血熱流行の終息宣言に踏まえた対応について」（令和8年8月28日付け感感発0828第1号）が発出されたことを踏まえ、消防庁通知を改正することといたしました。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/19da1499fe422e2825cd38412fddc84057e9e30b.pdf>）に掲載されています。

【お問合せ先】

消防庁救急企画室 金子、森、森原
電話：03-5253-7529
E-mail：kyukyuanzen@soumu.go.jp

◆ マイナ救急の積極的な広報について（依頼）

（事務連絡、令和8年8月28日）

消防庁救急企画室から各都道府県消防防災主管部（局）、各消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

平素より救急行政の推進につきまして、格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、マイナ救急の活用を広げていくためには、認知度の向上が重要と考えており、特に持病をお持ちの方や高齢者へのマイナ保険証の携行について広報をお願いしてきたところです。

消防庁では、9月9日「救急の日」に向けて、下記の通り、マイナ救急のメリットや実際の事例等を分かりやすく紹介するポスター、オリジナルアニメーション動画を新たに作成したほか、車両用のマグネットシート及びカーフィルムについても作成いたしました。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/d45e6ca0eb2643322588ca5f149059e37f10f617.pdf>）に掲載されています。

【問合せ先】

消防庁救急企画室 安全係
金子課長補佐、森係長、高野事務官、
田村事務官、森原事務官
電話：03-5253-7529（直通）
E-mail：kyukyuanzen@soumu.go.jp

[目次に戻る](#)

▽報道発表

◆ 令和8年7月の熱中症による救急搬送状況

(令和8年8月25日、消防庁)

熱中症による救急搬送人員について、令和8年7月の確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/kyuuki_20260825.pdf) に掲載されています。

【連絡先】 消防庁 救急企画室 救急連携係

担 当：辻課長補佐、松田係長、出口事務官

T E L：03-5253-7529

E-mail：kyukyukikaku-kyukyurenkei_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。
送信の際には、「@」に変更してください。

◆ 「令和8年4月22日に発生した岩手県大槌町における林野火災に係る消防庁長官の火災原因調査報告書」の公表

(令和8年8月27日、消防庁)

消防庁では、令和8年4月22日に発生した岩手県大槌町における林野火災において、消防庁長官の火災原因の調査を実施したところですが、今般、報告書を取りまとめましたので公表します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/260827_yobou_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

消防庁予防課

藤本、谷川、矢野

電話：03-5253-7523（直通）

E-mail:yobo_atmark_ml.soumu.go.jp

消防庁予防課特殊災害室

吉田、緑川、高谷

電話：03-5253-7528

E-mail:tokusaishitsu_atmark_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示
しております。送信の際には、「@」に変更してくださ
い。

◆ 令和8年度全国少年消防クラブ交流大会を開催します

(令和8年8月31日、消防庁)

消防庁では、平成24年度から、将来の地域防災の担い手育成を図るため、全国の少年消防クラブが集い、消防の実践的な活動を取り入れた訓練等を通じて他の地域の少年消防クラブ員と親交を深めることを目的として「全国少年消防クラブ交流大会」を開催しています。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/hodo0831.pdf>) に掲載されています。

<問合せ先>

消防庁国民保護・防災部地域防災室

伊藤課長補佐、廣瀬事務官、菊川事務官

TEL：03-5253-7561

E-mail：chiikibousai/atmark/ml.soumu.go.jp

※迷惑メール防止のため、「@」を「/atmark/」と表示しておりますので、送信の際は、「@」に置き換えてください。

◆ 消防団の組織概要等に関する調査（令和8年度）の結果

(令和8年8月31日、消防庁)

総務省消防庁では、全国の市区町村を対象に、令和8年4月1日現在の消防団の組織概要等に関する調査を行い、とりまとめましたので公表します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/R8sosikigaiyou.pdf>) に掲載されています。

【連絡先】

消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室

和氣課長補佐、青山係長、松浦事務官

TEL：03-5253-7561

E-mail：chibou.syobodan/atmark/soumu.go.jp

※迷惑メール防止のため、「@」を「/atmark/」と表示しておりますので、送信の際は、「@」に置き換えてください。

消防本部の“今”を「週間情報」へ

～身近な出来事、旬な情報を週間情報で発信しませんか？～

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行しており、速報性のある広報となっています。

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練などを中心に掲載しています。
- ・文章は、200～400文字程度、写真は、1～2枚。
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

【問合せ】：「週間情報」担当・企画課 中西 TEL:03-4500-6622

原稿データは、【専用投稿フォーム】 <https://forms.office.com/r/GxWJXpdc03>
に投稿願います。



消防デジタルイラスト募集中!!!

～あなたのイラストが全国の消防業務を支える力となります～

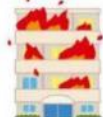
- あなたのイラストが、全国の消防本部で、広報・啓発・訓練・教材作成など、消防業務の様々な場面で活用されます。
- 全国消防長会ホームページの「令和版 消防デジタルイラスト集」に掲載されます。
- ホームページ掲載時には、「〇〇消防本部〇〇作」と作者名を明記し、あなたの名前と作品が、全国に紹介されます。

詳細は、全国消防長会ホームページを検索!!!



「消防行政相談事例集」を掲載中

- これまでに蓄積された相談事案と顧問弁護士の知見を「消防行政相談事例集」として取りまとめ、全国消防長会の情報管理システムに掲載しています。
- 行政相談でこれまでに対応した事例の中から、参考になるものを紹介しています。
- 掲載している相談は、内容を整理・一般化した概要と、それに対する顧問弁護士の回答です。
- 掲載する事例は、今後、随時追加していきます。



全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設!

～あなたのもとへ直接、素早く情報をお届け～

- 全国消防長会・一般財団法人全国消防協会「公式 X」を開設しました。フォローをお願いします。
令和8年度から定期刊行物（会報・ほのお・週間情報 ※週間情報は既に公開中）をホームページ上で公開することに伴い、「X」を通じて掲載情報などを素早くお届けします。
フォロー（アカウント登録）していただくことにより、各消防本部の先進的な取り組みや本会の取り組みなど多くの情報をお届けいたします。



フォローはこちら



X(旧 Twitter) 登録用二次元コード

